

LION FUKUSHIMA
2011-2012



7・8
2011

通刊392号

ライオン福島



ライオンズクラブ国際協会332-D地区

2011-2012年度

332-D地区ガバナー基本方針

今期ガバナーエレクト挨拶と重複する事も有りますが、かつて経験のした事のない東日本大震災の時に就任する事になりましたが、今こそライオンズクラブの出番だと思料されます。

私も第2副地区ガバナー・第1副地区ガバナー・ガバナーエレクトと続いてライオンズ活動をやって参りましたが、マール委員会も思ったより成果が出ず、新年度よりはG・M・T、G・L・Tと呼称を変えて専任のコーディネーターを置いて我が団体の活性化を図っていこうと言うのが国際協会の方針なのです。

我々332-D地区に於ては、東電の原発による特異な状況の中でのLC活動となるので、特に6Rの方々にはキャビネットとして大いなる寛容の精神で対応したいと考えております。

さて、会員数の伸び悩みに苦労されておるクラブは多数あると思われませんが、会員の高齢化も一つの大きな問題ではあるものの、やはり、単会のコアメンバーの育成とライオンズクラブの原点に帰ったアクトの見直しを新会長さんに進めていただいて、新しく30代、40代、50代、60代の年齢層の方々が入会されて、楽しい集まりとの認識を新会員にしてもらう努力より始めて欲しいのです。

今現在、他団体、NPO法人等々様々な団体がありますが、LCこそが最も魅力ある組織だと言ってもらえる新会員の獲得こそが、他団体に伍して地域社会に認知される我々の責任である事を心に銘記して「隗より始めよ」の格言通り各単会の三役の皆さん役員の皆さんあなたより新会員獲得行動に移して下さる様お願い致します。

重点目標

G・M・T、G・L・Tについて、今期よりキャビネットに新設した委員会であります。

1) G・M・Tについてはコーディネーターが新設され、その役割の指導的立場を担って参ります。委員にはZC経験者が就任し内容の充実を図って参りたいと考えております。

- ①会員増強と新クラブ結成
- ②単一クラブへの強化支援による会員維持
- ③少人数クラブへの具体的支援
- ④G・L・Tと協力し「クラブ向上プロセス」プログラムの活用を図る
- ⑤公認ガイディングライオンの確認と活動補助付与

DGチームとのパイプ役は第1副地区ガバナーとなります。

2) G・L・Tについては同様に1人の地区コーディネーターが任命され、DGチームとのパイプ役は第2副地区ガバナーとなります。その任務は

- ①ZC・GL(ガイディングライオン)向け、その他各種研修プログラムの実施
- ②各単会の役員研修への助力、及び講師派遣
- ③「クラブ向上プロセス」プログラムに則ったワークショップの実施
- ④単一クラブから地区役員迄、各レベルに於ける新リーダーの発掘、育成、助成

※クラブ向上プロセス
Club Excellence Process…CEP

CEPIに参加するクラブは、facilitator(ファシリテーター)…まとめ役、議論を容易にする人の指導の下に各1時間で4段階のセッション(session)…ひと区切り、会期を行います。クラブはCEPを通じて地域社会の調査を行いニーズを見極め、行動計画を立案します。
会員全員が参加して作成した行動計画は大変価値があり、まさしく今期のアクティビティスローガンの「みんなで奉仕・喜びの共有」であります。

2011-2012年度 スローガン

Slogan



国際会長テーマ

I Believe ～ 信じる ～

332複合地区 アクティビティスローガン

東北は一つ 今こそ郷土へのWe Serve

332-D地区 ガバナーテーマ

社会奉仕の改革

332-D地区 アクティビティスローガン

みんなで奉仕・喜びの共有



表紙写真

ウインクン・タム国際会長と久保田善九郎332-D地区ガバナーご夫妻が2011年6月29日アメリカワシントン州シアトルで開催されましたガバナーエレクトセミナーで撮影されたもの。

ガバナー 久保田善九郎は郡山東ライオンズクラブに1985年6月入会、1990年クラブ会長、1992年CAB.PRライオンズ情報委員、1994年3R・1Z・ZC、1995年視力ファースト委員長、1996年初代アイヘルズ委員長、1997年アイヘルズ委員長、1998年日本ライオンズアイヘルズプログラム・アイヘルズ大賞受賞、第2副地区ガバナー、第1副地区ガバナーを歴任。ご家族は町子夫人、一男、二女。東北クボタハウス有限会社 代表取締役

国際協会第94回国際大会において、国際会長に選出されたウインクン・タム氏(中国香港特別行政区)は航空・旅行業を専門とする企業から成る多国籍グループの理事長を務めている。

ライオンカレンダー *Event Information*

2011年 7月	13日(水)	事務局員セミナー(ホテル華の湯)
	21日(木)	第1回常任名誉顧問及び名誉顧問合同会議(栄楽館) 前年度会計監査
	28日(木)	第1回キャビネット会議(ホテルハマツ)
	//	第1回ZC合同会議(//)
	//	第1回各委員会会議(//)
8月		第1回ガバナー諮問委員会
9月		ガバナー公式訪問開始
	6日(火)	第4R・第1Zガバナー公式訪問
	7日(水)	第4R・第2Zガバナー公式訪問
	14日(水)	第5R・第1Zガバナー公式訪問
	15日(木)	第5R・第2Zガバナー公式訪問
	21日(水)	第1R・第1Zガバナー公式訪問
	24日(土)	第1R・第2Zガバナー公式訪問
	27日(火)	第2R・第1Zガバナー公式訪問
	28日(水)	第2R・第2Zガバナー公式訪問
	30日(金)	第24回平和ポスターメ切り【学校からクラブへ】

目次 *Contents*

- 地区ガバナーご挨拶 1
- 第94回ライオンズクラブ国際大会 ～シアトル～ 2・3
- 第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーご挨拶 4
- 幹事・会計ご挨拶 5
- ZC紹介 5
- ZCご挨拶 6・7
- ライオンズクラブ国際協会332-D地区組織表 8・9
- 2011～2012年度 ライオンズクラブ国際協会332-D地区 役員名簿 10
- 2011～2012年度 332-D地区年間予定表 11
- 2011～2012年度 332-D地区クラブ三役名簿 12・13
- キャビネット活動報告 14・15
 - ・ 三役セミナー開催
 - ・ 地区ガバナー国際大会へ出発
 - ・ 第1回PR情報委員会開催
- 各ライオンズの活動報告 16・17・18・19
- PR・ライオンズ情報委員会紹介(2011～2012年度) 20

地区ガバナー挨拶

District Governor-Greeting



地区ガバナー

くぼた ぜんくろ

L.久保田 善九郎

去る6月29日(水)~7月10日(日)迄の12日間、米国ワシントン州シアトルで開催されました、第94回ライオンズクラブ国際大会の閉会式(7月8日開催)にて、正式にガバナーに就任させていただきました。

新国際会長は香港出身のWing-Kun Tam(ウインクン・タム)氏が就任されました。

タム国際会長のテーマは「I Believe ~信じる」です。

各単一クラブは家族同様に仲間の会員と接し、会員がもたらす力を信じ、会員増強へ向けて行動を起こすよう奨励されます。

我々は新たな高みへと自分たちの奉仕を拡大してゆく事の重要性を信じ必ず成功させるのです。その推進力となるのは100万本の木を植えるという特別のキャンペーンです。

この様に目標設定をされた訳ですが、我々 332-D地区のアクティビティスローガン「みんなで奉仕・喜びの共有」と正に意図は同じであります。地区の目標は会員数と同数の2,000本の植樹です。これを実施する時に、新入会員及び地域社会の会員の友人も参加させ、ライオンズの存在を知らしめる事が、やがて会員の増強につながると信じるのです。

又、私のガバナーテーマは「社会奉仕の改革」ですが、これは今期新たにキャビネットに新設された、GMT、GLT委員会及び、環境保全・文化及び地域社会活動委員会を通じて、各単会の継続アクトを見直し、新入会員も交えた新しいアクトを実施していただければ、まさに新たな高みに我々を導く事

が出来ると信じるのです。

もう一つは、ライオンズ・クエスト委員会ですが、内容は重点目標の欄で紹介しておりますので、宜しくご理解下されば幸いです。

結びに今期1年間、役員の皆様と一緒にライオンズクラブの高揚に邁進する事をお誓いし、ご挨拶と致します。



ライオン歴

1985年6月 郡山東ライオンズクラブ入会
1988~1989年 クラブ幹事
1989~1990年 第3R-第1Z-ZC幹事
1990~1991年 郡山東ライオンズクラブ会長
1992~1993年 CAB-PRライオンズ情報委員
1994~1995年 第3R-第1Z-ZC
1995~1996年 CAB-視カファースト委員長

1996~1997年 CAB-初代アイヘルス委員長
1997~1998年 CAB-アイヘルス委員長(2期目)
2003~2004年 郡山東ライオンズクラブ20周年実行委員長
2009~2010年 第2副地区ガバナー
2010~2011年 第1副地区ガバナー

主なアワード受賞歴

1998年
日本ライオンズアイヘルスプログラム
アイヘルス大賞受賞
M-J-F 6回受賞

第94回 シアトル国際大会

94th Seattle International Convention



7月2日(土)9日間という長期の日程に加えて、大会、パレード、レセプションそしてパーティーと多彩な行事参加のため大きなスーツケースを携えて全員集合。山口一男方バナーをはじめ私達一行は成田空港からカナダのバンクーバーへ向けて出発しました。

サマータイムのため1時間短縮したとはいえ16時間の時差はきつく市内観光中も時々睡魔に襲われる状態でした。食事も早めに切り上げておりましたが、白夜のため夏は午後10時近くまで明るい状態、結局遅くまでアルコールを嗜むこととなりました。

翌朝、バスでシアトルへ、国境越えがりましたが3時間程で無事シアトルへ到着早速マリナーズの試合観戦にセーフコフィールドへ直行しました。今年はず振ってイチローが出場しないのではという噂もありましたが、2安打、1フォアボール、盗塁も決めて絶好調。3対1でマリナーズの勝利でした。大会イベント

☆大会登録 7月4日 ワシントン・ステート・コンベンションセンター
事前にエメールアドレスで送られてきた黄色いカードで全員登録しました。

☆インターナショナルパレード 7月5日
100ヶ国約1万人のパレードは、各国が民族衣装を中心として工夫をこらした姿で参加しました。日本はシアトルセンターの公園で待機、勇壮な和太鼓を先頭に揃いのハッピに豆絞りで86番目にパレードしました。

結果は「ユニフォーム着用代表团」というカテゴリーで日本が優勝しました。
☆ライオンスクラブ Face book 101 Twitter 101 講座
ライオンスクラブの家族や友人とコミュニケーションをとる方法や国際協会の最新情報を確認しオンラインネットワークを始める方法を教える講座でした。

☆国際会長の晩餐会 ワシントン・ステート・コンベンションセンター
テーブルに着席して飲食をしながらスピーチを聞きましたが、言葉の壁が...

☆最初の総会 7月6日 シアトルセンター「キーアリーナ」
ラドンナ・ガトリン氏とケビン・スクラッグス氏による演奏、国際会長シド・レスクラッグス三世による年次報告、平和ボスター及びエッセイコンテストの発表、国際パレードの結果発表、国旗入場式と充実した内容と華やかな映像とステータで国境を越えた一体感に包まれました。

☆ジャパンレセプション フェアモントオリンピックホテル
1700名を超える日本からの参加者が一同に会した立食パーティーです。332・C地区の国際理事候補者、秦従道、同じく国際理事候補者、高田 順一が挨拶をして代

2011年7月、
ワシントン州 シアトルにて行われた国際大会に
福島のライオンズクラブを代表して、L.山口一男ガバナー、L.久保田善久郎ガバナーエレクトが参加



参加者紹介
 L.山口一男 L.久保田善久郎 L.杉本一十士 L.安澤壯一
 L.大川原勝人 L.佐賀幹雄 L.安井 潤 L.赤塚英夫
 L.橋本修一 L.菊地孝明 L.大波久好 L.別府一男
 L.庭野軍治郎 L.久保田国雄 L.加藤ユキ子 L.永田亜衣
 L.久保田町子 L.菊地弘子 L.別府美代子
 L.赤塚祐子

長期間の旅程となりましたが、最後まで全員元気に過ごすことができました。シアトルから空路バンクーバーへトランスファアで日付変更線を越えて成田へ到着。涼しいシアトルから真夏の日本へ戻ってきました。やはり日本は最高ですが、世界中のライオンとふれあい、ライオンズクラブを見つめ直すことができた思い出深い国際大会でした。

キャビネット幹事 L.赤塚英夫
 ☆最終日総会 シアトルセンター「キアアリーナ」
 午前9時半から第3回総会(閉会式)が開会式では、コンドリザ・ライス元アメリカ国務長官の基調講演が行われたに続き、ウイニング・タム新国際会長の就任式が執り行われ、世界で47.5万本の植林を実施するなど2011〜2012年度の方針説明がありました。

会場内は国際テーマ「 Believe 信じる」をメインに香港のライオンズクラブのイベントで最高潮に達し、ファイナルはL.久保田善久郎ガバナーエレクトのリボン誕生、L.山口一男ガバナーがはすしL.久保田善久郎ガバナーが誕生、多くの参加者に祝福されました。

国際理事選挙をはじめ提案された議事に代議員が投票しました。

☆332・D地区のタベ 7月7日 オイスターハウス・エリオット
 シアトルのエリオット湾に面したシア50にある「オイスターハウス・エリオット」でL.久保田善久郎ガバナーエレクトご夫妻を中心に開催されました。隣で開催していた332・A地区を圧倒するような「ウィーサー」の発声で乾杯、D地区の会員とご婦人のみの会食で和気あいあい、店名とワインをリラックスした雰囲気を楽しみました。

☆332・D地区のタベ 7月8日 ワシントン・ステイト・コンベンションセンター
 国際理事選挙をはじめ提案された議事に代議員が投票しました。

☆332MDのタベ フェアモントオリンピックホテル
 ジャパンレセプション終了後332MDからの参加者で開催されました。6人のガバナーご夫妻そして6人のエレクトのご夫妻によるスピーチ等やかで楽しい会となりました。

第1副地区ガバナー挨拶

First Vice District Governor-Greeting



第1副地区ガバナー
すぎもと かず と し
L. 杉本一十士



この度、第1副地区ガバナーという大役をお引き受けするにあたり、その重責に身の引き締まる思いです。

去る、7月1日より1週間、アメリカ・シアトルにてライオンズクラブの国際大会に参加させて頂きました。

益々、ライオンズクラブの国際的・社会的な位置付けと、世界一の奉仕団体である事の誇りと使命感を強く感じました。

今期の久保田ガバナーの指針と重点目標実現の為に、積極的に行動したいと思いをします。

大先輩が築いたライオニズムを正しく理解しながら、久保

田ガバナーの強いリーダーシップのもと、第1副地区ガバナーとしての職責を全うする為に、一生懸命努力したいと思います。

これからも、前向きに、元気で明るく行動したいと思います。

今後とも、多くのライオンからのご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第2副地区ガバナー挨拶

Second Vice District Governor-Greeting



第2副地区ガバナー
あんざわ しょういち
L. 安澤莊一



去る5月15日(日)猪苗代町体験交流館「学びいな」に於いて開催されました第57回332-D地区年次大会にて会員の皆様から温かいご支援を賜り第2副地区ガバナーに選出されました事、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

今、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、今期のガバナー重点目標を達成するため、ガバナーはじめ会員皆様のご指導ご協力を賜りながら第2副地区ガバ

ナーとしての職責を全うできますよう精進いたします。

そして、ライオニズムの高揚と社会奉仕活動に努めてまいります。

今後とも会員皆様のご指導ご協力を重ねてよろしくお願い申し上げます。

キャビネット幹事・会計挨拶

Cabinet Secretary & Cabinet Treasurer-Greeting

キャビネット会計 L.橋本 修一

郡山東ライオンズクラブ



久保田善九郎ガバナーのもと、今期キャビネット会計を担当する事になりましたL橋本修一です。今年は3.11の東日本大震災ならびに東京電力福島第1原子力発電所の事故により、大変な年になってしまいました。この様なかつて経験した事のない状況でライオンズクラブを運営する事になりました。ウィザーブの精神のもと会員が一丸となり、頑張っていかなければならないと思います。会計責任者として1年間微力ではございますが、赤塚英夫幹事共々、久保田ガバナーをしっかり支えて邁進して行きたいと思っております。各クラブの皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

キャビネット幹事 L.赤塚 英夫

郡山東ライオンズクラブ



この度、2011～2012年度332-D地区のキャビネット幹事を仰せつかり、その重責を担うこととなりました。東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ、福島第1原子力発電所の事態収拾も目途のたたない状況のなか、会員の減少、避難によるクラブ活動停止等、厳しい現実が枚挙の暇がありません。

しかし、このような時だからこそ奉仕を目的とする活動が目立され、世界的に知れ渡ってしまった「Fukushima」のライオンズクラブが、一体となって奉仕活動に取り組み、力強く復興を目指す姿を大きくアピールしていきたいと思っております。

拝命いたしましたうえは鋭意専心、地区ガバナー L久保田善九郎のテーマであります「社会奉仕の改革」を、キャビネット役員そして332-D全会員の皆様と共に実践し、ライオンズクラブ発展のために精励いたす所存でございます。

結びに、今後とも皆様のご指導、ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

ゾーン・チェアパーソン紹介

Zone Chairperson-Introduction

ゾーン・チェアパーソン		
第1R・第1Z・ZC	井上 寛	福島グリーンクラブ
第1R・第2Z・ZC	伊藤 清春	本 宮
第2R・第1Z・ZC	荒木 祥仁	福島松川
第2R・第2Z・ZC	鈴木 洋二	保 原
第3R・第1Z・ZC	笹内 忠幸	郡 山
第3R・第2Z・ZC	佐藤 日出一	郡山開成

ゾーン・チェアパーソン		
第4R・第1Z・ZC	阿部 信夫	猪 苗 代
第4R・第2Z・ZC	宮城 圀泰	会津喜多方
第5R・第1Z・ZC	溝井 忠勝	須 賀 川
第5R・第2Z・ZC	寺島 常昭	白河小峰
第6R・第1Z・ZC	永山 久夫	いわき中央
第6R・第2Z・ZC	岩崎 和夫	相 馬

ゾーン・チェアパーソン挨拶

Zone Chairperson-Greeting

第1R・第2Z・ZC

L. 伊藤 清春

本宮ライオンズクラブ

この度、本宮ライオンズクラブの推薦を受けZCの大役を引き受けることになり、その任務の重大さに身の引き締まる思いをいたしております。

未曾有の災害に見舞われ、その復旧に様々な対策が望まれる中でこの1年間の任期ではありますが第1R・第2Zにおいて、精一杯役割を担ってまいりたいと思っております。

この大震災とどう向き合うか、この大震災をどう乗り越えるか、この時期に求められること、この時期にやらなければならないことを真剣に考え、関係各位の力添えを頂きまして微力ではありますが努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

第2R・第2Z・ZC

L. 鈴木 洋二

保原ライオンズクラブ

このたび、第2R第2ZのZCを務める、保原LC所属のL鈴木洋二です。こんな大役を仰せつかり大変恐縮しております。何も分からない私ですが、久保田善九郎ガバナーの指導監督の下に、ゾーンの運営に対してクラブ活動の発展を図るために、微力ではありますが全力で務めて参りたいと思っております。ZCは、ライオンズ組織の中でも活動的で指導力に富んだ役割を担っております。任務としては、地区ガバナー諮問委員会の運営、ゾーン内各クラブの例会への出席、弱体クラブの援助や新クラブを結成するための提案と実行、ゾーン内クラブの活動についてお互いにアイデアを交換できるように図る、各地区委員長と密接に協力し各クラブの地区および国際協会のプログラムを理解するよう図る、ガバナーの委任により地区役員クラブ役員セミナーを行って地区委員会を指導監督しリジョン内の新入会員研修会を行う。と、かなり多くの内容となっております。私はLCの活動は、何と云っても会員数で決まると思っています。いかにして会員を増やすか、また維持していくのか、これが最大の課題だと思っております。私は皆さんと共にこの課題解決に向け努力をしていきたいと思っております。第1Zの荒木祥仁ZCと協力して、頑張ってZCの職責を務めていきたいと思っておりますので、どうぞ1年間よろしくお願いたします。

第3R・第2Z・ZC

L. 佐藤 日出一

郡山開成ライオンズクラブ

この度、郡山開成ライオンズクラブの推薦を受け、2ZのZCを引き受ける事になりました、L佐藤でございます。

久保田ガバナーの方針を各クラブに伝えながら「新しいアクト」を模索したり、新しい仲間が参加出来る「楽しい集まり」になれるように企画実現に向けて、活性化を図りながら、各クラブの個性が更に発揮出来るお手伝いが出来ればと考えております。各クラブが目標を設定しながらクラブの「伝統」はきちりと引継ぎ「改革」出来る所は大いにチャレンジをして、この大変な大震災後の福島県を牽引出来る奉仕団体は「ライオンズクラブ」であることを目指して、全員が同じ方向に向かって前進出来る事を願い、皆様の更なるご協力とご理解を賜り、キャビネットとの橋渡しを1年頑張ります。各クラブの皆様には重ねてご協力をお願い致します。

第1R・第1Z・ZC

L. 井上 寛

福島グリーンライオンズクラブ

この度、福島グリーンライオンズクラブの推薦をうけ1R・1Z ゾーン・チェアパーソンの大役を引き受けることになりました。3月11日の東日本大震災・原発事故のかつて経験した事のない特異な状況の中でのLC活動になりその責務の重大さに、身の引き締まる思いを致しております。

今期、久保田ガバナーのテーマは「社会奉仕の改革」です、ライオンズクラブの原点に帰ったアクトの見直しと、会員増強を、新会長さんに進めていただけるように、微力ですが努力をしたいと思っております。また、ゾーン内には原発事故の影響地区のクラブもあり、協力して対処したいと思っております。大変未熟ものではあります、精一杯努力したいと思っておりますので、1R1Zの皆様のご理解とご協力を切にお願いし、挨拶と致します。

第2R・第1Z・ZC

L. 荒木 祥仁

福島松川ライオンズクラブ

このたび、福島松川ライオンズクラブの推薦により、第2R・第1Zのゾーン・チェアパーソンをお引き受けすることとなり、その職務の重大さに身の引き締まる思いです。

各役員・諸先輩Lのご指導を仰ぎながら、地区ガバナー基本方針並びに重点目標に沿った活動を推進して参る所存であります。

大震災・原発問題と解決の糸が見えない中、ライオンズクラブが大震災後の支援・義援に目を見張る継続的な活動があり、地域の復旧・復興には重要となっており、また魅力ある組織であるとの認識を持ち、その活動に各クラブが万全の力を注ぎ込めるようお手伝いをさせて頂く考えであります。

それには、ゾーン内各クラブ及び会員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、一年間活動して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

第3R・第1Z・ZC

L. 笹内 忠幸

郡山ライオンズクラブ

この度、第3R・第1ZのZCを、先輩ライオンが多数おられる中、ご拝命を頂きましたこと、身に余る光栄と思っております。同時に、この役職を大いに自覚し、甘えることなく、驕ることなく、精一杯務めさせて頂く覚悟であります。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願申し上げます。2011～2012年度332-D地区ガバナーの基本方針は、まず第一に“会員維持・増強”と謳われております。そして“隼より始めよ”と。そしてそのことが、ガバナーテーマ“社会奉仕の改革”に繋がるのだ、と。この素晴らしい言葉を引き合いに出された久保田善九郎ガバナーに敬意を表すると共に、この故事(戦国策)の意味を再認識し、ガバナーと各クラブ・ライオンとの心の橋渡しに徹し、皆様と共に“心と心を大いに響き合せ、爽やかな”悔いのないライオンズ活動になるよう努力してゆきます。初めての大役に恐縮しております。皆様からご指導を重ねてお願し、挨拶とさせて頂きます。

第4R・第2Z・ZC

L. 宮城 罔泰

会津喜多方ライオンズクラブ

この度、第4R・第2Z・ZCをお引き受けいたしました会津喜多方LC所属L.宮城です。

第4R・第2Zの各クラブは非常に仲が良く、又、歴代のZCが各クラブのため、各地域のため、キャビネットとの協力等、本当に一生懸命されておりましたので、私も歴代ZCを見習い、楽しい会になる様に頑張りたいと思いますし、ガバナーを称え、アクティビティスローガン“みんなで奉仕・喜びの共有”の下に行動したいと思います。

『どんな組織も拡大がないと滅びる』わけで、各クラブが一人でも二人でも仲間を増やせる様、頑張ってくださいと思いますし、協力していきたいと思います。

第4R・第2Zの各クラブ三役の皆様、各Lの皆様のご指導、御協力を切にお願いいたします。

第5R・第2Z・ZC

L. 寺島 常昭

白河小峰ライオンズクラブ

この度、白河小峰ライオンズクラブの推薦を受けまして、第6R・第2Z・ZCの大役を務める事になりました。L寺島でございます。皆様の協力により今後1年間頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

先の3月11日、未曾有の(東日本大震災)でお亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

1日も早い復興に微力ながらお力添えが出来ればと考えております。未熟ではありますが、「ウィ・サーブ」の気持ちで頑張っていきますので今年1年間よろしくお願い致します。

第6R・第2Z・ZC

L. 岩崎 和夫

相馬ライオンズクラブ

先日開催された、引継会議 三役セミナーに出席し、改めてその任の重大さに、身の引き締まる思ひを致してをります、第2Z・ZCのL.岩崎和夫と申します。その折のガバナー基本方針に在いてL.久保田善九郎ガバナーが仰ってあることに、私ども第6Rとしては大いなる共感を覚えてをります。「我々 332-D地区に於いては、東電の原発による特異な状況の中でのLC活動となるので、特に6Rの方々にはキャビネットとして大いなる寛容の精神で対応したいと考えております」と。まことに私ども第6Rとしては、収束の見通しどころか、次々と拡散する放射線被害に夜の明けぬ日々を、過してをります。かかる状況下に在いてゾーン・チェアパーソンの任務も非常時の対応を迫られることもあらうかと、覚悟を固めてをります。キャビネット及び2Zの皆様のご理解とご協力を宜しく願ひ申し上げます。

第4R・第1Z・ZC

L. 阿部 信夫

猪苗代ライオンズクラブ

このたび、第4R・第1Z・ゾーン・チェアパーソンをお引き受けいたしました。ゾーン内各クラブとの交流を図り、ゾーンの各種行事、レクリエーション等に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

また、ガバナーテーマ“社会奉仕の改革”を念頭におき、久保田ガバナー並びにキャビネット役員の方々の指導のもと、ゾーン内各クラブ会員と意識を共有し、一丸となって奉仕活動がより充実したものとなるように、また、行政や地域の人々との親睦を図り、地域に密着した奉仕活動ができるように、微力ではありますが尽力していきたいと思っております。

今年度一年間、ゾーン内各クラブ会員の皆様方のご協力、ご指導を心からお願い申し上げます。抱負とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

第5R・第1Z・ZC

L. 溝井 忠勝

須賀川ライオンズクラブ

この度、須賀川ライオンズクラブの推薦を受け、5R・1Z・ZCの大役を引受ける事になり、その任務の重大さに身の引き締まる思いをいたしております。

2011-2012 332-D

地区 ガバナーテーマ 「社会奉仕の改革」

アクティビティスローガン 「みんなで奉仕・喜びの共有」

上記を目標に7クラブの皆様と活動して行きたいと思っております。

クラブの継続は会員の維持・増強なくしてクラブの発展はない。独自のクラブ活動を参考にそれぞれのクラブも目標に向かって取り組んでいただきたいと思っております。

ゾーンの皆様のご理解とご協力を切に願ひ挨拶といたします。

第6R・第1Z・ZC

L. 永山 久夫

いわき中央ライオンズクラブ

このたび、いわき中央LCの推薦を受け6R・1Z・ZCを引き受けることになりました。3月11日発生した東日本大震災はLCの運営に大きな影響を与えています。原発事故が原因で避難した人達。建物や周辺の損壊が大きく、方向性が定まらない高齢者の方々。得意先の建物等の壊滅により、売上不振から事業継続に不安な経営者の方々。6月末日のゾーン内の在籍者数は大きく減少となって表れております。対策と致しましては、早期に残った精鋭会員が一人一名をスポンサーすることであります。クラブの充実した運営には会員数の増大が必要不可欠であります。これは何事にも優るWe Serveだと考えます。その他ZCとしての役割については、諸先輩のご指導を賜り、又、ゾーン内の皆様のご理解、ご協力を得ながら、「ライオンズの誓い」の理念のもと組織の運営に取り組んで行きたいと考えております。今年度一年間よろしくお願い申し上げます。

2011・7～2012・6

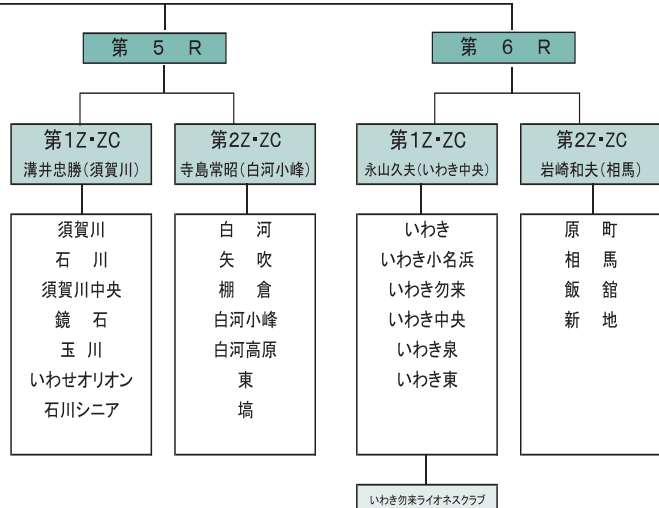
332-D地区 ACTIVITY SLOGAN

みんなで奉仕・喜びの共有

参与
大川原勝人(猪苗代)・前CAB幹事 大波久好(郡山東)・元CAB会計 菅野拓(磐梯熱海)・元ZC 橋本正喜(郡山南)・元RC

第58回年次大会
委員長 石田 貢(郡山東)・元RC
副委員長 虎谷寛(郡山東) 矢島義謙(郡山東)
事務局長 立花秀和(郡山東)
事務局次長 清水尋志(郡山開成) 上野弘之(郡山東) 川名國利(郡山東) 田村幸男(郡山東)
参与 菊地孝明(郡山東)・元ZC 香西貞夫(郡山東)・元ZC

監査委員
佐賀幹雄(猪苗代)・前CAB会計 安齋友吉(郡山東)
事務局管理委員会
委員長 車田悦夫(玉川)・元CAB幹事
副委員長 斎藤正明(福島西)・元CAB幹事



委員会	委員長	副委員長
PR・ライオンズ情報	七海喜久雄 (郡山東) アドバイザー 佐藤一男(会津塩川) 長友 瑛(郡山あさか)	1 佐藤守一(川俣)
		2 広田育三(東和)
		3 藤田紀征(福島中央)
		4 神尾明夫(伊達町)
		5 三本木礼子(郡山中央)
		6 浜本武嗣(会津磐梯)
		7 千葉作美(本郷白鳳)
		8 桑沢 一(石川)
		9 加藤宏樹(矢吹)
		10 櫻村 弘(いわき)
		11 斎藤賢一(新地)
I T	滝田一人 (郡山東)	1 山村秀春(福島信陵)
		2 矢吹雅孝(小野町)
		3 七宮広樹(塙)
Y・C・E	伊藤 実 (会津若松鶴城)	1 大内征史(岩代)
		2 鈴木昌彦(福島あぶくま)
		3 佐々木光幸(郡山北)
		4 小林節雄(会津坂下)
		5 角田真美(鏡石)
		6 村上征位起(いわき東)
Y・C・E 実行	橋本修一 (郡山東)	
LCIF・大会参加 ・国際関係	安澤荘一 (白河小峰)	1 手塚忠嘉(福島信夫)
		2 佐々木彰(霊山)
		3 箱崎哲司(田村)
		4 小林謙吉(田島)
		5 米倉 実(須賀川中央)
		6 星山 天(原町)
青少年育成 ・ライオンズクエスト	廣瀬 涉 (西会津)	1 川島 博(飯野)
		2 酒井富也(梁川)
		3 三瓶嘉宣(磐梯熱海)
		4 宇月晴彦(猪苗代)
		5 邊見義栄(白河)
		6 阿部明夫(いわき小名浜)
環境保全・ 文化及び 地域社会活動	熊坂英二 (福島)	1 高野忠重(国見)
		2 野内政一(三春)
		3 畑 俊介(会津若松白虎)
		4 安住文男(棚倉)
		5 町田久子(いわき勿来)
献眼・献血・献腎	小嶋裕一 (福島西)	1 平館康治(二本松)
		2 小野卓二郎(郡山西)
		3 菊地 正(柳津)
		4 矢部 忠(いわせオリオン)
		5 昆 典(原町)
平和ポスター	平野昭男 (いわき泉)	1 加藤由美(安達)
		2 阿部隆明(福島東)
		3 橋本 仁(郡山)
		4 鈴木黎明(会津高田)
		5 小原良雄(玉川)

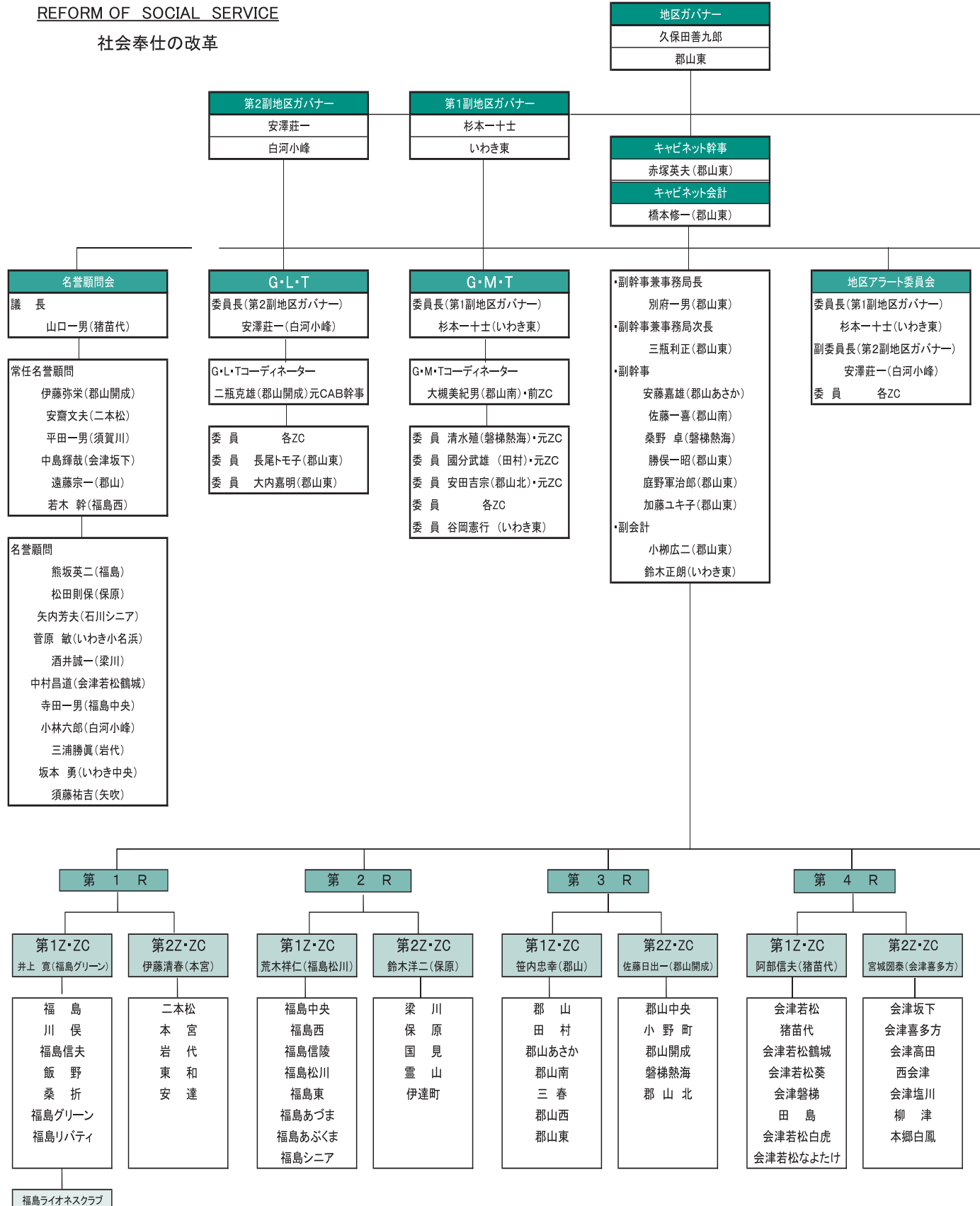
ライオンズクラブ国際協会332-D地区組織表

Lions Clubs International 332-D district organization chart

GOVERNOR THEME

REFORM OF SOCIAL SERVICE

社会奉仕の改革



2011～2012年度 ライオンズクラブ国際協会332-D地区 役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属 ク ラ ブ
地 区 ガ バ ナ ー	久保田善九郎	郡 山 東
前地区ガバナー・名誉顧問会議長	山 口 一 男	猪 苗 代
第 1 副 地 区 ガ バ ナ ー	杉 本 一 十 士	い わ き 東
第 2 副 地 区 ガ バ ナ ー	安 澤 莊 一	白 河 小 峰
常 任 名 誉 顧 問	伊 藤 弥 栄	郡 山 開 成
常 任 名 誉 顧 問	安 齋 文 夫	二 本 松
常 任 名 誉 顧 問	平 田 一 男	須 賀 川
常 任 名 誉 顧 問	中 島 輝 哉	会 津 坂 下
常 任 名 誉 顧 問	遠 藤 宗 一	郡 山
常 任 名 誉 顧 問	若 木 幹	福 島 西
名 誉 顧 問	熊 坂 英 二	福 島
名 誉 顧 問	松 田 則 保	保 原
名 誉 顧 問	矢 内 芳 夫	石 川 シ ニ ア
名 誉 顧 問	菅 原 敏	い わ き 小 名 浜
名 誉 顧 問	酒 井 誠 一	梁 川
名 誉 顧 問	中 村 昌 道	会 津 若 松 鶴 城
名 誉 顧 問	寺 田 一 男	福 島 中 央
名 誉 顧 問	小 林 六 郎	白 河 小 峰
名 誉 顧 問	三 浦 勝 眞	岩 田
名 誉 顧 問	坂 本 勇	い わ き 中 央
名 誉 顧 問	須 藤 祐 吉	矢 吹
キ ャ ビ ネ ッ ト 幹 事	赤 塚 英 夫	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 会 計	橋 本 修 一	郡 山 東
G M T コ ー デ ィ ー ナ ー	大 槻 美 紀 男	郡 山 南
G L T コ ー デ ィ ー ナ ー	二 瓶 克 雄	郡 山 開 成
第 1 R ・ 第 1 Z ・ Z C	井 上 寛	福 島 グ リ ー ン
第 1 R ・ 第 2 Z ・ Z C	伊 藤 清 春	本 宮
第 2 R ・ 第 1 Z ・ Z C	荒 木 祥 仁	福 島 松 川
第 2 R ・ 第 2 Z ・ Z C	鈴 木 洋 二	保 原
第 3 R ・ 第 1 Z ・ Z C	笹 内 忠 幸	郡 山
第 3 R ・ 第 2 Z ・ Z C	佐 藤 日 出 一	郡 山 開 成
第 4 R ・ 第 1 Z ・ Z C	阿 部 信 夫	猪 苗 代
第 4 R ・ 第 2 Z ・ Z C	宮 城 罔 泰	会 津 喜 多 方
第 5 R ・ 第 1 Z ・ Z C	溝 井 忠 勝	須 賀 川
第 5 R ・ 第 2 Z ・ Z C	寺 島 常 昭	白 河 小 峰
第 6 R ・ 第 1 Z ・ Z C	永 山 久 夫	い わ き 中 央
第 6 R ・ 第 2 Z ・ Z C	岩 崎 和 夫	相 馬
参 与	大 川 原 勝 人	猪 苗 代
参 与	大 波 久 好	郡 山 東
参 与	菅 野 拓	磐 梯 熱 海
参 与	橋 本 正 喜	郡 山 南
G M T 委 員	清 水 殖	磐 梯 熱 海
G M T 委 員	國 分 武 雄	田 村
G M T 委 員	安 田 吉 宗	郡 山 北
G M T 委 員	谷 岡 憲 行	い わ き 東
G L T 委 員	長 尾 ト モ 子	郡 山 東
G L T 委 員	大 内 嘉 明	郡 山 東
監 査 委 員	佐 賀 幹 雄	猪 苗 代
監 査 委 員	安 齋 友 吉	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 委 員 長	石 田 貢	郡 山 東
事 務 局 管 理 委 員 会 委 員 長	車 田 悦 夫	玉 川
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 委 員 長	七 海 喜 久 雄	郡 山 東
I T 委 員 長	滝 田 一 人	郡 山 東
Y C E 委 員 長	伊 藤 実	会 津 若 松 鶴 城
Y C E 実 行 委 員 長	橋 本 修 一	郡 山 東
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 委 員 長	安 澤 莊 一	白 河 小 峰
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 委 員 長	廣 瀬 涉	西 会 津
環 境 保 全 ・ 文 化 及 び 地 域 社 会 活 動 委 員 長	熊 坂 英 二	福 島
献 眼 ・ 献 血 ・ 献 腎 委 員 長	小 嶋 裕 一	福 島 西
平 和 ポ ス タ ー 委 員 長	平 野 昭 男	い わ き 泉
第 58 回 地 区 年 次 大 会 副 委 員 長	虎 谷 寛 郡	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 副 委 員 長	矢 谷 義 謙	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 事 務 局 長	立 花 秀 和	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 事 務 局 次 長	清 水 尋 志	郡 山 開 成
第 58 回 地 区 年 次 大 会 事 務 局 次 長	上 野 弘 之	郡 山 東

役 職 名	氏 名	所 属 ク ラ ブ
第 58 回 地 区 年 次 大 会 事 務 局 次 長	川 名 國 利	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 事 務 局 次 長	田 村 幸 男	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 参 与	菊 地 孝 明	郡 山 東
第 58 回 地 区 年 次 大 会 参 与	香 西 貞 夫	郡 山 東
事 務 局 管 理 委 員 会 副 委 員 長	齋 藤 正 明	福 島 西
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事 兼 事 務 局 長	別 府 一 男	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事 兼 事 務 局 次 長	三 瓶 利 正	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事	安 藤 嘉 雄	郡 山 あ さ か
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事	佐 藤 一 喜	郡 山 南
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事	庭 野 軍 治 郎	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事	勝 俣 一 昭	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事	加 藤 ユ キ 子	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 幹 事	桑 野 卓	磐 梯 熱 海
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 会 計	小 柳 広 二	郡 山 東
キ ャ ビ ネ ッ ト 副 会 計	鈴 木 正 朗	い わ き 東
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 ア ド バ イ ザ ー	佐 藤 一 男	会 津 塩 川
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 ア ド バ イ ザ ー	長 友 瑛	郡 山 あ さ か
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	佐 藤 守 一	俣 野
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	広 田 育 三	川 東 和
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	藤 田 紀 征	福 島 中 央
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	神 尾 明 夫	伊 達 町
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	三 本 木 礼 子	郡 山 中 央
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	浜 本 武 嗣	会 津 磐 梯
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	千 葉 作 美	本 郷 白 鳳
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	桑 沢 一 石	石 川
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	加 藤 宏 樹	矢 吹
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	樫 村 弘	い わ き
P R ・ ラ イ オ ン ズ 情 報 副 委 員 長	齋 藤 賢 一	新 地
I T 副 委 員 長	山 村 秀 春	福 島 信 陵
I T 副 委 員 長	矢 吹 雅 孝	小 野 町
I T 副 委 員 長	七 宮 広 樹	塙
Y C E 副 委 員 長	大 内 征 史	岩 田
Y C E 副 委 員 長	鈴 木 昌 彦	福 島 あ ぶ く ま
Y C E 副 委 員 長	佐 々 木 光 幸	郡 山 北
Y C E 副 委 員 長	小 林 節 雄	会 津 坂 下
Y C E 副 委 員 長	角 田 真 美 鏡	石
Y C E 副 委 員 長	村 上 征 位 起	い わ き 東
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 副 委 員 長	手 塚 忠 嘉	福 島 信 夫
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 副 委 員 長	佐 々 木 彰 靈	山
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 副 委 員 長	箱 崎 哲 司	田 村
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 副 委 員 長	小 林 謙 吉	田 島
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 副 委 員 長	米 倉 実	須 賀 川 中 央
LCIF ・ 大 会 参 加 ・ 国 際 関 係 副 委 員 長	星 山 天 原	町
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 副 委 員 長	川 島 博 飯	野
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 副 委 員 長	酒 井 富 也	梁 川
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 副 委 員 長	三 瓶 嘉 宣	磐 梯 熱 海
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 副 委 員 長	宇 月 晴 彦	猪 苗 代
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 副 委 員 長	邊 見 義 栄	白 河
青 少 年 育 成 ・ ラ イ オ ン ズ ク エ ス ト 副 委 員 長	阿 部 明 夫	い わ き 小 名 浜
環 境 保 全 ・ 文 化 及 び 地 域 社 会 活 動 副 委 員 長	高 野 忠 重	国 見
環 境 保 全 ・ 文 化 及 び 地 域 社 会 活 動 副 委 員 長	野 内 政 一	三 春
環 境 保 全 ・ 文 化 及 び 地 域 社 会 活 動 副 委 員 長	畑 俊 介	会 津 若 松 白 虎
環 境 保 全 ・ 文 化 及 び 地 域 社 会 活 動 副 委 員 長	安 住 文 男	棚 倉
環 境 保 全 ・ 文 化 及 び 地 域 社 会 活 動 副 委 員 長	町 田 久 子	い わ き 勿 来
献 眼 ・ 献 血 ・ 献 腎 副 委 員 長	平 館 康 治	二 本 松
献 眼 ・ 献 血 ・ 献 腎 副 委 員 長	小 野 卓 二 郎	郡 山 西
献 眼 ・ 献 血 ・ 献 腎 副 委 員 長	菊 地 正 柳	津
献 眼 ・ 献 血 ・ 献 腎 副 委 員 長	矢 部 忠 一	い わ せ オ リ ン
献 眼 ・ 献 血 ・ 献 腎 副 委 員 長	昆 典 原	町
平 和 ポ ス タ ー 副 委 員 長	加 藤 由 美 安	達
平 和 ポ ス タ ー 副 委 員 長	阿 部 隆 明	福 島 東
平 和 ポ ス タ ー 副 委 員 長	橋 本 仁 郡	山
平 和 ポ ス タ ー 副 委 員 長	鈴 木 繁 明	会 津 高 田
平 和 ポ ス タ ー 副 委 員 長	小 原 良 雄	玉 川

332-D地区年間行事予定表(2011～2012)

年月	国際・332複合地区		332-D地区		キャビネット	
	日(曜日)	行事予定	日(曜日)	行事予定	日(曜日)	行事予定
2011年 7月	4日(月)～ 8日(金)	第94回国際大会 (米国・ワシントン州・シアトル)	13日(水) 21日(木)	事務局員セミナー(ホテル華の湯) 第1回常任名誉顧問及び名誉顧問合同会議 (磐梯熱海 栄楽館) 前年度会計監査		内局員会議
	下旬	夏期YCE派遣・YCE受入れ	28日(木)	第1回キャビネット会議(ホテルハマツ)		諮問、質問書発送
	下旬	YCEサマーキャンプ(中止)	〃 〃	第1回ZC合同会議(〃) 第1回各委員会会議(〃)		
8月		第1回ガバナー協議会		第1回ガバナー諮問委員会		内局員会議 事務局お盆休み
9月			6日(火) 7日(水) 14日(水) 15日(木) 21日(水) 24日(土) 27日(火) 28日(水) 30日(金)	ガバナー公式訪問開始 第4R・第1Zガバナー公式訪問[案] 第4R・第2Zガバナー公式訪問[案] 第5R・第1Zガバナー公式訪問[案] 第5R・第2Zガバナー公式訪問[案] 第1R・第1Zガバナー公式訪問[案] 第1R・第2Zガバナー公式訪問[案] 第2R・第1Zガバナー公式訪問[案] 第2R・第2Zガバナー公式訪問[案] 第24回平和ポスター✕切 【学校からクラブへ】		内局員会議
10月	8日(土)	ライオンズデー 全国アイバンクシンポジウム 会員増強月間	4日(火) 7日(金) 12日(水) 15日(土) 31日(月)	第6R・第1Zガバナー公式訪問[案] 第6R・第2Zガバナー公式訪問[案] 第3R合同ガバナー公式訪問[案] 目の愛護デー ライオンズ奉仕デー 第24回平和ポスター✕切 【クラブからキャビネットへ】		内局員会議
11月	24日(木)～ 27日(日)	第2回ガバナー協議会 第50回オセアル・フォーラム (フィリピン・マニラ)	1日(火) 8日(火) 〃 〃	第2回ガバナー諮問委員会 第2回常任名誉顧問会議[予定] 第2回キャビネット会議[予定] 第2回ZC合同会議[〃] 第2回各委員会会議[〃]		内局員会議
12月		冬期YCEオリエンテーション 冬期YCE派遣・YE受入れ		次期ガバナー及び副地区ガバナー立候補 届け及び推薦状の発送 上半期決算準備 年次大会部長会		内局員会議 事務局年末休み
2012年 1月	上旬 24日(火)	LCIF週間 世界平和デー 会員増強月間		次期ガバナー及び副地区ガバナー立候補 推薦✕切 上半期会計監査 ライオンズ創立者報恩の月		内局員会議
2月			7日(火) 15日(水) 〃 〃	監査報告 第3回常任名誉顧問及び名誉顧問会議[予定] 第3回キャビネット会議[予定] 第3回ZC合同会議[〃] 第3回各委員会会議[〃]		内局員会議
3月	15日(木)	夏期YE派遣生オリエンテーション 日本ライオンズ創立記念日		第3回ガバナー諮問委員会 年次大会準備日程		内局員会議
4月			11日(水) 18日(水) 〃 〃 29日(日)	第4回常任名誉顧問会議[予定] 第4回キャビネット会議[予定] 第4回ZC合同会議[〃] 第4回各委員会会議[〃] ガバナーアワード選考会 第58回地区年次大会 (ビッグパレットふくしま) [予定]		内局員会議
5月	27日(日)	332複合地区 第58回年次大会				内局員会議
6月	15日(金) 22日(金)～ 26日(火)	ガバナーエレクト予備会議 新役員(PU-101)報告 第95回国際大会 (韓国・釜山)		次期ライオンズクラブ三役セミナー		内局員会議 次期キャビネットへ事務引継ぎ

332-D地区 2011~2012年度 クラブ三役名簿

R	Z	ク ラ ブ 名	会 長	幹 事	会 計	
1	1	福 島	過 足 廣 次	佐 藤 良 一	谷 藤 静 広	
		川 俣	菅 野 文 吉	佐 藤 守 一	佐 藤 喜 与 志	
		福 島 信 夫	三 浦 修 一	岡 部 政 美	手 塚 忠 嘉	
		飯 野	高 橋 芳 雄	高 野 和 夫	伊 藤 尚 登	
		桑 折	菅 野 泰 弘	熊 坂 勇 司	藤 倉 実	
		福 島 グ リ ー ン	菅 藤 真 利	郡 司 勝 也	佐 藤 明	
		福 島 リ バ ティ	遠 藤 真 知 子	佐 藤 克 己	三 浦 力	
	2	二 本 松	石 澤 孝	松 坂 寿 夫	鈴 木 明 宏	
		本 宮	津 守 義 忠	門 馬 秋 夫	安 齊 勇	
		岩 代	安 斎 征 治	鈴 木 朝 裕	根 本 清 一	
		東 和	鈴 木 今 朝 男	紺 野 平	神 野 功	
		安 達	平 栗 征 雄	本 多 和 弘	小 野 祥	
	2	1	福 島 中 央	富 田 賢 一	渡 辺 繁 雄	斎 藤 英 明
			福 島 西	今 野 政 明	二 瓶 健 二	佐 藤 哲 也
福 島 信 陵			立 花 恭	小 川 明 広	小 林 志 津 子	
福 島 松 川			朝 倉 廣 志	酒 田 五 郎	佐 藤 富 二	
福 島 東			菅 野 寛	佐 藤 敏 夫	橋 正 光	
福 島 あ づ ま			斎 藤 芳 徳	伊 藤 勇 寿	渡 辺 三 郎	
福 島 あ ぶ く ま			武 田 眞 徳	佐 竹 紀 保	川 上 幸 市	
福 島 シ ニ ア			大 内 章	松 崎 昇	高 萩 八 重 子	
2		梁 川	大 和 田 俊 一 郎	奥 山 昇 一	小 賀 坂 保 夫	
		保 原	斎 藤 嘉 雄	水 口 泉 一	木 戸 春 美	
		国 見	大 和 田 健 一	古 山 吉 浩	渡 辺 誠 一	
		霊 山	菊 地 国 義	菅 野 康 男	田 畑 進	
		伊 達 町	柳 川 隆 秀	菅 野 與 志 昭	中 原 聡 美	
		郡 山	渡 辺 一 儀	北 村 義 勝	松 本 繁	
3	1	田 村	宗 像 倉 義	助 川 俊 光	佐 久 間 幸 彦	
		郡 山 あ さ か	池 上 祐 志	杉 崎 尚 弘	黒 丸 四 郎	
		郡 山 南	青 木 恒 夫	高 橋 正 二	佐 藤 宏 記	
		三 春	矢 吹 康	大 内 博 勝	野 内 政 一	
		郡 山 西	荒 川 友 成	飛 田 喜 男	増 子 澄 子	
		郡 山 東	久 保 田 国 雄	湯 口 勇	立 花 豊	
		郡 山 中 央	本 田 タ ツ イ	遠 藤 克 衛	市 川 良 一	
	2	小 野 町	阿 部 徳 夫	西 牧 義 和	郡 司 聖 貴	
		郡 山 開 成	蔭 山 健 一	二 瓶 克 雄	佐 久 間 純	
		磐 梯 熱 海	山 下 秀 雄	佐 久 間 正 次	佐 藤 健 次	
郡 山 北	佐 藤 征 栄	伊 東 昌 明	相 楽 優 子			

R	Z	ク ラ ブ 名	会 長	幹 事	会 計
4	1	会 津 若 松	佐 藤 和 人	鈴 木 一 也	澤 田 修 一
		猪 苗 代	佐 賀 幹 雄	大 川 原 勝 人	東 條 泰 治
		会 津 若 松 鶴 城	川 島 克 也	皆 川 誠 治	神 保 光 一
		会 津 若 松 葵	渡 部 優 生	伊 藤 幸 治	角 田 博 之
		会 津 磐 梯	鈴 木 れ い 子	三 浦 伸 介	猪 俣 和 恵
		田 島	渡 部 福 雄	大 橋 仁 一 郎	渡 部 勝 博
		会 津 若 松 白 虎	鈴 木 裕 俊	畑 俊 介	田 崎 広 之
	会 津 若 松 な よ た け	岩 田 ち う	榊 原 敏 子	宮 森 く み 野	
	2	会 津 坂 下	齋 藤 善 平	竹 村 福 雄	二 瓶 孝 也
		会 津 喜 多 方	井 上 竹 司	佐 藤 晴 美	飯 野 雄 太 郎
		会 津 高 田	杉 原 稔	渡 部 茂	齋 藤 雄 一
		西 会 津	高 濱 秀 道	佐 藤 達 雄	武 藤 健
		会 津 塩 川	渡 部 満 雄	細 山 好 明	高 羽 伊 一 郎
		柳 津	伊 藤 毅	武 田 幹 雄	岩 佐 誠 吾
本 郷 白 鳳		川 田 賢 一 郎	根 本 昌 志	山 田 征 男	
5	1	須 賀 川	石 井 直 人	大 野 憲 一	沢 村 京 子
		石 川	岡 部 弘 一	熊 田 孝 一	相 楽 卓
		須 賀 川 中 央	羽 生 弘 一	鈴 木 健 一	本 内 久 子
		鏡 石	広 瀬 茂	菅 野 豊	角 田 真 美
		玉 川	車 田 信 彦	円 谷 久	小 原 和 彦
		いわせオゾン	五 十 嵐 伸	松 崎 淳 一	阿 部 弘 文
		石 川 シ ニ ア	酒 井 信 夫	鈴 木 謙 壽	渡 辺 祥 一 郎
	2	白 河	赤 城 寛 治	永 野 常 芳	田 村 光 司
		矢 吹	佐 藤 勝 栄	大 竹 利 一	鈴 木 隆 司
		棚 倉	大 平 雅 俊	村 越 誠	増 子 圭 一
		白 河 小 峰	荒 井 勝	菅 原 修 一	高 橋 正 史
		白 河 高 原	小 林 栄 二	徳 沢 英 哲	松 田 和 久
		東	高 橋 一 馬	渡 辺 義 信	小 松 伸
		塙	藤 田 高 志	松 本 光 春	大 森 悠 之 進
6	1	い わ き	関 原 誠 司	松 崎 幸 江	四 ッ 倉 敏 之
		い わ き 小 名 浜	鈴 木 敏 弘	竹 森 昭	佐 藤 君 榮
		い わ き 勿 来	矢 代 典 義	遠 藤 裕 之	鈴 木 健 一
		い わ き 中 央	草 野 和 久	山 野 辺 勝 之	佐 藤 徳 美
		い わ き 泉	矢 萩 秀 雄	大 友 康 夫	岩 谷 良 二
		い わ き 東	村 上 征 位 起	湯 澤 芳 彦	佐 藤 登 喜 夫
	2	原 町	山 田 智 照	門 馬 弘	長 岡 利 幸
		相 馬	針 ヶ 谷 克 之	草 野 隆 史	坂 本 勝 彦
		飯 舘			
		新 地	水 戸 誠	荒 良 昭	荒 一 博

ライオンズクラブ
国際協会332-D地区

三役セミナー開催される



2011年6月9日(木)郡山市山根町8-7、ベルヴィ郡山館に於いて現・次期ZC委員長引継会議及び三役セミナーが開催されました。現・次期ZC委員長引継会議は午後1時より、三役セミナーは午後3時より332-D地区現・次期役員全員が出席されました。当日は参加人数240名と報告がありました。2011年3月11日の東日本大震災の影響で、第6Rからの出席Lが少なかったと聞きました。

前段の現・次期ZC委員長引継会議の内容は前期通刊391号に出しておりますので省略致します。今期8月号では、当日開催された三役セミナーと懇親会のもようを掲載します。セミナーは午後4時30分で終わりました。引き続き別会場にて希望Lでの懇親会が開宴されました。



東北は一つ 今こそ郷土へのWe Serve

332-D複合地区アクティビティスローガン

第94回ライオンズクラブ国際大会

ガバナーエレクトご夫妻 元気で国際大会へ出発



久保田善九郎ガバナーエレクトご夫妻は、去る6月29日午前10時38分発やまびこにてアメリカのシアトルへ向けて出発されました。出発に先立ち、郡山駅の新幹線ホームにて郡山東LCの次期キャビネット役員L.赤塚英夫幹事、L.橋本修一会計、次期PR情報委員長のL.七海喜久雄、外友交クラブのライオンズCメンバー多くの皆さんに見送られました。

新幹線ホームで手作りの横断幕を皆さんで手に持ち、「元気でいっ

てらっしゃい」見送り陣の声援に、久保田善九郎ガバナーエレクトは「留守をよろしく」と元気いっぱい。列車の出発と同時に期せずしてバンザイ、バンザイ、万歳三唱の渦につつまれ旅立たれました。

ガバナーの帰国予定は7月6日頃のことです。キャビネット役員の方々は、後日の便で大勢にて出発参加され、シアトルでの多くのイベントに出席されることとなるでしょう。

久保田善九郎ガバナーエレクトはシアトル市内のいろんな会場で、指導セミナー、インターナショナルパレード、地区ガバナーエレクトセミナー、全体会議等ひとつひとつクリアして、配偶者同伴での晩さん会、日本ライオンズクラブガバナーエレクト食事会、国際会長を祝う会等々、ガバナーエレクト夫妻は招待され、数々のイベント、勉強会に参加され元気でお帰りになる日が待ち遠しいです。



6月18日午後2時より

第1回PR情報委員会開催



郡山市山根町のベルヴィ郡山館にて、次期PR情報委員会のメンバー14名、次期ガバナー L.久保田善九郎、L.赤塚英夫幹事、L.橋本修一会計。全員が多忙の中、次期PR情報委員長 L.七海喜久雄の司会で初顔合わせ。自己紹介で始まりました。

次期ガバナー L.久保田善九郎、L.赤塚英夫、L.橋本修一からのご挨拶に続いて、皆さん和気あいあいの内に2時間余り貴重な話し合いが出来ました。



向う一年間全力を合わせ、素晴らしいライオン誌を発行できるように常にアンテナを高くして頑張ります。今後は毎月一回キャビネット事務局にて委員会会議を開催して、建設的な意見を出し合い当日の会議内容をベースに、ライオン誌は月内に各ライオンズクラブに届くように全員で約束しました。

各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第1R・第1Z

福島ライオンズクラブ

■6月4日(土) 文知摺観音の清掃

福島・福島信夫・福島グリーンの3クラブ合同ACTとして、文知摺観音の清掃を行った。清掃終了後、安洞院で朝粥を頂き、住職のお話を聞いた。



■6月30日(木) 福島民友新聞キャンペーンに参加

「地球に優しく、子どもたちに愛を。ふくしまエコキャップ運動」にペットボトルのキャップ100キロを届けた。



第1R・第1Z

川俣ライオンズクラブ

■3月19日(土)

南三陸志津川LCに緊急支援物資の輸送

友好クラブである宮城県 南三陸志津川LCへ緊急支援物資の輸送を行った。震災後は連絡が取れなかったが、テレビ画面に映る南三陸町の映像の中に南三陸志津川LC会員を見つけ無事を確認、ようやく連絡を取り付けた。

震災直後なので、煮炊き用の釜や鍋が必要とのこと。会員の手作りドラム缶鍋や廃業した食堂から協力をいただき、大鍋4つと飲料水2ℓボトル336本、缶詰、野菜、冷凍食品を緊急車両に積み込み、川俣ライオンズクラブからの義援金50万円を準備して、会長はじめ会員7名が被災地志津川町に向かった。現地のあまりの変わりように驚愕。また津波で犠牲になった会員に黙祷を捧げた。会員たちは避難所暮らしを余儀なくされたが、ライオンズ精神は不滅。「きっとまた元通りにしてみせる」と力強い。

訪問L7名 荷物詰込み等にはL20名参加。



◀南三陸志津川LCの会員と

■6月19日(日)

朝市に参加し、ひまわりの種など配布

当クラブの姉妹クラブである兵庫県赤穂ライオンズクラブより、復興・放射能対策・夏の節電などに役立てて欲しいとのことで、ひまわりの種とゴーヤ・朝顔などの蔓植物が届いたので、市内で開催された朝市に参加し、市民に配布しました。



■4月11日(月)

川俣町に災害義援金100万円を贈呈

来期に予定していた45周年記念事業の一環として、川俣町に災害義援金100万円を贈呈した。川俣町役場内に町長に手渡した。L9名

■4月13日(水)

原町ライオンズクラブに支援金50万円贈呈

川俣LC会員4名が原町LC事務所を尋ね、支援金として50万円を原町LC会長に手渡した。

※その後、川俣町が一部避難地域を抱える町となりました。



みんなで奉仕。喜びの共有。

332-D地区アクティビティスローガン

第2R・第1Z

福島中央ライオンズクラブ

■6月17日(金)「薬物乱用防止教室」講師派遣

伊達市立梁川中学校 1学年

梁川ライオンズクラブ主催の「薬物乱用防止教室」へ講師派遣

認定講師による講演と、DVDで薬物摂取の身体への影響、薬物の危険性や恐ろしさを訴え、乱用防止の意識向上を図った。

認定講師としてL3名、ほか会長、幹事Lが参加した。

参加L5名



第2R・第1Z

福島あづまライオンズクラブ

■6月19日(日) パセオ通りの清掃

L4名の参加でしたが、早朝から、空缶やペットボトルなど様々なゴミを拾い集め清掃を行いました。



第2R・第1Z

福島あぶくまライオンズクラブ

■6月14日(火)

東日本大地震被災者支援 日本赤十字社福島支部に
義捐金83,566円を贈呈

会員から募った善意、義捐金83,566円を太田久雄事務局長に手渡す。

出席L:鈴木昌彦会長、櫻井誠幹事、田原浩之会計



第2R・第1Z

福島松川ライオンズクラブ

■6月4日(土) 土湯温泉山水荘の避難者へ支援

友好クラブであります東京荒川西LC会員18名と当クラブ会員10名が参加して、会場である土湯温泉山水荘に避難している御家族へ支援物資をお渡ししました。

■6月5日(日) 土合館公園駐車場のトイレに時計設置

松川町の土合館公園駐車場のトイレに時計を設置しました。



各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第2R・第1Z

福島西ライオンズクラブ

■4月2日(土)北海道そらちLCが「そば・うどん」提供 福島西LCと福島LCが協力しました

そらちLCは、4月2日被災者支援として9名の会員が北海道からフェリーで車2台に荷物を積んで新潟経由で福島市あづま運動公園体育館に来て、1,400人分の「そば・うどん」を提供しました。地元クラブとして福島西LCと福島LCが協力しました。支援当日には山口ガバナーをはじめキャビネット三役も体育館に激励に来ていただきました。



■5月11日(水) 第900回例会記念3クラブ合同例会



福島西LCの第900回例会を記念し、福島市 ホテル辰巳屋にて、福島あぶくまLC(第292回例会)、福島シニアLC(第26回例会)の3クラブ合同例会が開催されました。福島西LC安田利雄会長、福島あぶくまLC鈴木昌彦会長、福島シニアLC大槻勝男会長が挨拶の後、日本赤十字社東支部の神野幸夫課長が「東日本大震災と日赤の活動」について記念スピーチを行いました。3クラブ合同例会は初めて実施しましたがお互いのクラブ活動について経験交流を交えて楽しく歓談しました。3クラブ出席会員65名

第900回例会記念事業

■6月15日(水) 水墨画を老人ホームに贈呈



第900回例会の記念事業として今年4月に福島市太平寺に開所した特別養護老人ホーム「なごみの郷」に水墨画4作品を贈呈し施設内に掲示しました。この水墨画は福島西LCのチャーターメンバーでもある伊藤信治と佳子夫人が長年にわたって描いてこられて作品です。「なごみの郷」の小林氏撰津長も「良い作品をいただきました。多くの人に鑑賞していただきます。」と感謝の気持ちを伝えました。贈呈式には伊藤信治、佳子LLと安田利雄会長と清野春男Lが出席しました。

■6月1日(水)第902回例会 (山口ガバナー、北海道そらちLCを招いて)

福島市サンパレス福島にて、332-D地区の山口ガバナー、大川原幹事、佐賀会計と北海道の331-A地区そらちLCの玉村会長、野田第一副会長、木村人道支援実行委員長を招いて第902回例会を開催しました。福島西LC安田会長と山口ガバナーが挨拶し、そらちLCのライオンズ精神を称え感謝を伝えました。またそらちLCの玉村会長は地元の協力を感謝したいと記念の盾を持参し福島西LCに贈呈しました。出席会員45名



■6月24日(金) 東日本大震災 被災者激励「寄席」 福島市内の2つの会場で落語と紙切り芸を披露!

【第1回】13時～14時 福島市佐原字神事場1番地
あづま運動公園体育館にて

【第2回】15時～16時 福島市町庭坂字神の森1-20
高湯温泉 花月ハイランドホテルにて



福島西LCでは震災で避難している方々を落語で励まそうと「激励寄席」を開催しました。

寄席には、落語家で六代目春風亭柳朝さん、紙切り芸の林家栄一さんが賛同して出演していただき、プロの芸を楽しんでいただきました。出演した春風亭柳朝師匠は「避難している方々の困難な生活に接しあらためて震災を実感した。支援の輪を広めてゆきたい」と話していました。出席会員13名

第3R・第1Z

田村ライオンズクラブ

■6月2日(木)第902回例会



田村ライオンズクラブでは、田村市への入り口となる船引・三春インターから避難所となっている旧春山小学校までの国道288号線沿いの清掃、空缶拾いを行った。当クラブが31年間行っている継続事業である。 席会員13名



みんなで奉仕。喜びの共有。

332-D地区アクティビティスローガン

第5R・第1Z

須賀川中央ライオンズクラブ

■7月6日(水) 新旧三役引継ぎ会議を開催

午後7時より居酒屋どんどんにて新旧三役引継ぎ会議を開催した。当日は新旧三役、及び新重要各委員長、そして私新PR情報委員長二瓶敏雄も出席し総勢10人で今年度の事業計画案を審議した。

まず新旧会長あいさつ引継ぎを実施、そして幹事、会計へと引継がれ新年度の年間行事予定表や会員名簿、各事業委員長名簿、例会での幹事報告書の承認等細かく討議し、羽生新会長のスローガン「絆でウイ・サーブ」で一年間会員と共に楽しいクラブ運営をはかって行きますので今後とも皆様のご協力、ご指導をいただきたい旨の話をし、その後、出席した会員の皆さんから今後の事業方針全てにご理解を得て了承された。

最後に佐藤稔旧会長より3.11東日本大震災に於いて台湾の姉妹クラブより約300万近い災害義援金を送付賜りました。その全ては須賀川市及びキャビネット事務局へ寄付させていただきましたとの報告を受け会議を終了した。



■新役員による例会

7月7日(木)午後7時より天祥かぶらにて開催され、新役員による進行にて三役、各委員長の抱負、取り組み等の話はそれぞれ緊張しながらも力強い期待と希望に満ち溢れていた。

第57回年次大会アワード贈呈式には、クラブ賞盾を佐藤稔前会長へ贈呈し、例会を終了した。懇親会では前役員の方をねぎらうとともに新役員への大きな期待をにじませていた。

最後に羽生新会長が「今後も会員と協調、融和をはかり絆を強くして奉仕活動に精進しましょう」と挨拶し幕を閉じた。

親睦委員長 中村 進



第5R・第2Z

棚倉ライオンズクラブ

■5月第2例会「100%出席例会」を実施

棚倉ライオンズクラブは設立から37年目の2011年5月第2例会が、通算900回という大きな節目の例会となった。記念事業は予定していなかったが、設立時の初心に戻り、例会の重要性を再確認するよう「100%出席例会」を実施した。

ゲストスピーカーとして、同ゾーン輩出で2011~2012年度第2副地区ガバナーの安澤莊一L(白河小峰LC所属)をお招きし、「地域におけるライオンズクラブの役割」をテーマに講演、ディスカッションを行った。こここのころ例会に足が遠のいていたメンバーも出席し、見事100%出席例会を達成した。(通常は、70%前後の出席率)久しぶりに出席したメンバーは、照れながらも遅くまで懇親会を楽しんでいた。

運営委員長 和田 功



第6R・第1Z

いわき中央ライオンズクラブ

■6月8日(水) 「子供たちの心のケア」の講話

長崎県の大村中央LCより紹介されたいわき地区で子供たちの心のケアをなさっている大村市の小児科医出口喜美子先生を例会にご招待し、お話を伺いました。

九州と東北、遠く離れた両県の縁、絆を今後とも大切にしたいと思っています。

会員15名



■6月9日(木) 復興を願ってサクラの植樹

創立30周年記念と東日本大震災復興を祈願し、いわき市の平中央公園にシダレザクラを植樹した。30周年記念式典実行委員会の坂本勇委員長が「これから10年20年と復旧と共に大木に成長してほしい」永山久夫会長が「周辺環境の美化を進め、地域での奉仕活動に努めたい」とあいさつした。同LC会員でもある渡辺市長が「このサクラの成長に負けないよう、震災前より良くなったと言われるような復興に力を入れる」と謝意を表した。

坂本委員長らが苗木に土をかけ、郷土の再生を祈願した。会員12名
幹事 L永島哲朗



私達がPR情報委員です



PR・ライオンズ情報委員長

L.七海喜久雄

郡山東

ガバナー方針と多くのクラブ会員のご意見を分かりやすく伝えたい。



PR・ライオンズ情報アドバイザー

L.佐藤一男

会津塩川

本誌は読者の創造にありを念頭に努力します。



PR・ライオンズ情報アドバイザー

L.長友 瑛

郡山あさか

ガバナー方針とメンバーが喜んで読まれるライオン誌を作ります。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.佐藤守一

川 俣

各クラブのライオンの皆様にはライオン福島誌への協力をお願いいたします。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.広田育三

東 和

楽しく一年間やりたいと思っています。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.藤田紀征

福島中央

一生懸命の人は知恵が出る。皆さんが喜んでいただける文章に挑戦!



PR・ライオンズ情報副委員長

L.神尾明夫

伊達町

クラブ・ゾーンの情報積極提供をお願いします。(賣方出す人・私書く人)



PR・ライオンズ情報副委員長

L.三本木礼子

郡山中央

1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.浜本武嗣

会津磐梯

読者がよろこぶ取材に努めたいと思います。よろしくをお願いします。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.千葉作美

本郷白鳳

会員の目の引くような記事を重点に制作したいと思ひます。良い原稿ありましたら情報下さい。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.桑沢 一

石 川

1年間ご協力をよろしくお願ひします。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.加藤宏樹

矢 吹

ライオン福島を通じて、クラブ活動及び情報をしっかり伝えたいと思ひます。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.櫻村 弘

いわき

LC活動が広く認知されていないように感じられますので、PRに努めたい。



PR・ライオンズ情報副委員長

L.斎藤賢一

新 地

各クラブの活動内容を折りにふれ正確に報告を致します。

ライオンズ国際協会332-D PR・ライオンズ情報委員会

地区キャビネット事務局

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字彼岸塚22-9
TEL (024) 937-0830 FAX (024) 937-0831
E-mail : info@lc332d.com

PR・ライオンズ情報委員長 挨拶

PR・Lions Intelligence Committee Chairman-Greeting



PR・ライオンズ情報委員長

L.七海 喜久雄

郡山東ライオンズクラブ

この度、郡山東ライオンズクラブの推薦を受け、当委員会の委員長を務めさせていただくことになりました。その任務の重大さに身の引き締まる思いを致しております。

久保田ガバナーとはライオンズクラブ入会がほぼ同時で、様々な奉仕活動を一緒に実践させていただき、氏のクラブ活動に対する熱い想い、そして誠実なお人柄は332-D地区の会員のリーダーとして最適任と思っており、その想いを地区会員にお伝えする仕事として、副委員長、アドバイザーの皆さんのご協力をいただきながら、理解しやすく、見て楽しめるような誌面づくり、PR活動に精進したいと考えております。未熟者ですが、精一杯努力して参ります。

どうぞ一年間よろしくお願ひいたします。

ライオンズピックス

風評を正しく知り 風紀の実践を急ごう

スポーツ選手の言葉に「結果」を出したいというが、風評にも良し悪しがあり前者は良いことで現在の風評は悪いことを意味している。風評という言葉の意味とはさきわめて少なかったが、八十年ほど前の漢字字典によると「風説」と「風評」があり、どちらも「うわさ」「取り沙汰」とありその「良し悪し」とある。

なかには四字熟語に「噂沓背情」が紹介され、噂は多くの人の勝手な話で沓は雷同と同義語で人の前ではお世辞を述べ、陰は悪口をいうこととある。また、自分に考えもなく面白気分で他人の話しに合わせることでありとある。ヤフー辞典は「風評とはあれこれ取り沙汰すること、噂」とあり、広辞苑は「世間の評判や噂」と紹介している。

日常、あれは「噂」、「デマ」だと言うが、「デマ」はドイツ語でデマゴギーの略で意図的に流す「うそ」のことで、嘘、噂、流言が作られた。風評被害とはなにかであるが、これはありもしない原因や結果を世間であれこれ取り沙汰することである。根拠や責任のない無責任な噂を意味する言葉で、流言と合わせて流言飛語なる四字熟語が古くから使用されている。

風評被害はありもしないことや、結果による噂の被害のことと考える。今回の東日本大震災のように対策より想像を語るデマの速さだけが先行して各地に大被害をもたらした。その被害たるや福島県全域に及んだから恐れ入った。災害、事故に対する不適切な誤報、原因と関係ない業者や従事者が損害を受けた。ことに汚染による消費の減退などは想像を絶する有様である。

県が誇る裏磐梯観光はこの震災に関係しないということが、「如風過耳」であり、「移風易俗」と悪い風評を良い方にといい熟語を思い出した。やはり一日も早い太平の世を祈るのは皆の願いだ。そこに「風不鳴枝」があるがこれは太平の世を心から願うということである。

さすが日本人は危機存亡を察して自己本位を捨て、自然にあった物事を見極める姿勢の素晴らしさに敬意を強く感じるが「即天居私」である。ここで、風評の風にまつわる言葉をあげれば、風説はとかく古語に近く「取り沙汰：うわさ」で風説も風評と同義語である。以上書き上げた風骨（様子）からさすがに乱にあつて礼節を忘れぬ風紀を取り締まる強い趣はまさに風紀であり、官民こそつて風の如く早く立つ心意気をさす「風起」を進めなければならぬ。

執筆 佐藤 男

広い会津は人口が少なく自然美は確実に豊かさを増している。

現在の会津は土地面積が47都道府県3位にあたる福島県の約40%で、明治18年までは新潟県東蒲原郡が会津だった。明治5年戸籍調査のわが国人口はわずか3,311万人だった。

47都道府県中		明治18年	面積(km ²)	人口(万人)
3位	福島県	福島県	13,782.72	205
		会津領	5,412	29.8
		東蒲原郡	953	1.3
		旧会津領	6,365	31.1

47都道府県中		面積(km ²)
23位	山口県	6,112
25位	三重県	5,777
26位	愛媛県	5,677
27位	愛知県	5,164
28位	千葉県	5,157

現在、愛知県より広く27位に相当し藩政府時代には山口県より広がった。



安心取引の不動産コンサルティングサービス

東北クボタハウス有限公司

(社)全日本不動産協会・(社)不動産保証協会 加盟店

地区ガバナー(郡山東ライオンズクラブ)

代表取締役 **L.久保田善九郎**

〒963-8841 郡山市字山崎221番地 TEL.024-932-2598



保険クリニック郡山店

株式会社クリエイト

Toward The Future - Create-ins.co.

キャビネット幹事 **L.赤塚 英夫** (郡山東ライオンズクラブ)

〒963-8863 郡山市菜根屋敷416-1 e-mail: web@create-ins.co.jp

TEL.024-932-5103 FAX.024-932-5821



相談無料!

問題点・解決策がわかりやすい
とご講評いただいております。
全く保険のことがわからなく
てもご安心下さい。私たちク
リエイトがお手伝いいたします。

イキイキ整骨院

各種保険対応

〒963-8813 郡山市芳賀一丁目3-7 ゲオスポーツクラブ内 1F

TEL.024-942-8530

キャビネット会計 **L.橋本 修一** (郡山東ライオンズクラブ)

毛皮・レザー製品・婦人服販売・卸・小売 **カナディアンミンク**



おかげさまで **45** 広告一筋
周年



株式会社 **波デザイン**

専務取締役 **L.大波 久好**

参与 (郡山東ライオンズクラブ)

〒963-8024 福島県郡山市朝日二丁目18-34
☎(024)933-3018 FAX.(024)927-7339

オフィスネットワーク&モバイルコンサルティング

auショップ 郡山並木 郡山市西ノ内2-10-20 TEL.024-933-3003

auショップ 須賀川 須賀川市台183 TEL.0243-72-1661

auショップ 新田東 仙台市宮城野区新田東1-18-1 TEL.022-236-3033

岩通東北株式会社

〒963-0202 福島県郡山市柏山町2 TEL.024-951-1050

キャビネット副幹事 兼 事務局長(郡山東ライオンズクラブ)

代表取締役 **L.別府 一男**

「羊毛断熱材 × 太陽光発電」
リクシルソーラー 発電効率の高い
「単結晶セル」を採用!!

コミコミ太陽光発電の家
夢ハウス株式会社
郡山市大槻町字辰巳田40 ☎024-962-7618

代表取締役会長 **L.菊地 孝明**
(郡山東ライオンズクラブ)第58回地区年次大会参与

株式会社 石田工業社会事業団

会長 **L.石田 貢**

(郡山東ライオンズクラブ)

第58回地区年次大会委員長

発行/2011年7月
発行所/3321D地区キャビネット事務局
発行/L久保田善九郎

編集人/L長友 瑛・L七海喜久雄
PR・ライオンズ情報委員会
ライオンズ福島編集局

事務局/〒963-10102

FAX 郡山市安積町笹川字彼岸塚22-19
024-1937-10830